

4 月から教壇に立つ人に

教職教育センター共同研究・実習室 北野 隆司

大学で教員免許を取得し、4月から教壇に立てば、誰でも、とりあえずは先生となります。しかし、いい先生になるためには、もう少し努力が必要です。

「授業がよく分かって楽しい。」「勉強は分かればおもしろい。」「授業をわかりやすく教えてくれる。」「友達が学校にいて楽しい。」「毎朝学校に行くのが楽しい。」「学級が楽しい。担任の先生が好きだ。」「クラブが楽しい。クラブの先生が好きだ。」「いつも話を聞いて、優しく支えてくれる先生がいる。」・・・等と言ってくれるような授業やクラスを作ることのできる先生は、キツといい先生です。

できたら、このような先生になりたいと誰もが思うでしょう。

このような先生になるためにはもう少し努力が必要です。それは何でしょうか。私は、次の4つが必要だと思います。

一つ目は、子どもたちの心を深く理解するための勉強です。

二つ目は、教える内容をしっかりと身につけ、教える方法も学ぶ必要があります。

三つ目は、何事にもくじけない心と体も必要です。

そして、何より必要なのは、子どもたちへの愛情です。

そのために、学び続けて欲しい、持ち続けてほしいいくつかのことがあると思います。

自分自身が学び続けていること。

自分の教科の勉強や研究が面白くてしかたがないと感じていること。

言葉の力を信じていること。

勉強することが人生や世界を切り開く力になるということを信じて疑わない心を持っていること。

子どものよさを見つける力を持っていること。

それをいつでも取り出せ、表現する力を持っていること。

そのために、記録をとる力を持っていること。

憧れを持っていて、その憧れを伝え、他者の憧れに寄り添うことができること。

人は変わるということを信じて疑わない心を持っていること。

読書の習慣が身についていること。

ハマる言葉を知っていること、そして、その言葉を貯めていること。

自分の仕事に誇りを持っていること。

他者に自己をさらけ出せること。

情報に金を惜しまないこと。

ストレス解消できる何かを持っていること。

嫌いな相手からも学べる力を持っていること。

.....

これから、学校という職場で、沢山の先生を見て、まねて、学んで、そして、自分のスタイルを作ってほしいと思います。

辛いときもあると思います。自分を信じてください。決して辞めないでください。

今は陰の中に立っていても、一、二歩どちらかに寄れば、太陽の光を浴びることができます。光に立つか、陰に入るかは、まさに、一、二歩の違いなのかもしれません。暗いな、少し寒いなと思ったら、自分から動いてみませんか。

何かを信じようとする心の姿勢を、昨日よりは今日の熱意を取り戻してください。